

(平成26年10月1日現在)

| | | | | |
|---------------|--|---|---------------------|-------|
| 病院執行部 | 病院長(教授) | 三嶋 理晃 | 病院長補佐(教授) | 黒田 知宏 |
| | 副病院長(教授) | 平家 俊男 | 病院長補佐(教授) | 椎名 毅 |
| | 副病院長(教授) | 稲垣 暢也 | 病院長補佐(教授) | 松原 和夫 |
| | 副病院長(教授) | 小西 郁生 | 病院長補佐(看護部長) | 秋山 智弥 |
| | 副病院長(教授) | 一山 智 | 病院長補佐(事務部長) | 山木 宏明 |
| 所在地 | 〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町54 TEL:075-751-3111 FAX:075-751-6151 | | | |
| 最寄りの交通機関と所要時間 | JR京都駅下車 市バス北大路バスターミナル行(206系統)乗車(D2乗り場) 熊野神社前下車 | | | |
| | 京阪電鉄神宮丸太町駅下車 徒歩10分 | | ⇒交通機関案内94ページをご覧ください | |
| 沿革・特徴 | 沿革 | 明治32年7月 京都帝国大学医科大学を設置 明治32年12月 京都帝国大学医科大学附属医院を開設・診療開始 大正8年2月 京都帝国大学医学部附属医院と改称 昭和24年5月 京都大学医学部附属病院と改称 平成10年4月 胸部疾患研究所附属病院(160床)を統合 平成16年4月 国立大学法人化 | | |
| | 特徴 | 京大病院の基本理念 1. 患者中心の開かれた病院として、安全で質の高い医療を提供する 2. 新しい医療の開発と実践を通して、社会に貢献する 3. 専門家としての責任と使命を自覚し、人間性豊かな医療人を育成する この3つの理念を基に、診療、研究、教育を中心として事業を展開している。平成16年度からは国立大学法人となり、より一層の経営努力が必要とされるようになり、さらなる経営の合理化を進めているところである。同時に地域の医療機関との連携をより一層図っているところである。平成17年度からは、総合臨床教育・研修センターが発足し、医師・歯科医師のみならず、薬剤師やメディカルスタッフの教育・研修にも力を入れている。 | | |

(平成26年10月1日現在)

| | | | | | | | |
|---|--|----------|----------|--------------------------------------|--------|---|-------|
| 建物敷地 | 敷地建物 | 150,088㎡ | 建築面積 | 32,560㎡ | 建築延面積 | 161,783㎡ | |
| 教職員等 | 医師(医員を含む) | | 926人 | 事務職員 | | 322人 | |
| | 歯科医師(医員を含む) | | 19人 | その他 | | 396人 | |
| | 看護要員 | | 1,061人 | 合計 | | 2,981人 | |
| | 薬剤師 | | 85人 | 研修医 | 内科 | 118人 | |
| | 診療放射線・X線技師 | | 57人 | | 歯科 | 8人 | |
| | 臨床・衛生検査技師 | | 86人 | 臨床修練外国医師等 | | 1人 | |
| | 理学・作業療法士 | | 29人 | | | | |
| 標榜診療科 | 内科、循環器科、神経内科、外科、眼科、産科、婦人科、小児科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、整形外科、精神科、歯科口腔外科、放射線科、麻酔科、脳神経外科、形成外科、心臓血管外科、呼吸器外科、矯正歯科、病理診断科、リハビリテーション科 | | | | 標榜診療科数 | 23 | |
| 病床 | 区分 | 病床数 | 病室数 | | 先進医療 | 先進医療A(第二項) | |
| | 一般 | 1,046床 | 個室 | 319室 | | ①多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(H23.5.1) | |
| | 療養 | 0床 | 2人室 | 27室 | | ②短腸症候群又は不可逆的な機能性小腸不全に対する脳死ドナーからの小腸移植(H24.3.1) | |
| | 精神 | 60床 | 3人室 | 1室 | | ③急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定(H24.11.1) | |
| | 結核 | 15床 | 4人室 | 169室 | | | |
| | 感染症 | 0床 | 5人以上 | 11室 | | | |
| 計 | 1,121床 | 計 | 527室 | | | | |
| 先進医療 | 先進医療B(第三項) | | | | | | |
| | ①重症低血糖発作に伴うインスリン依存性糖尿病に対する心停止ドナーからの膵島移植 重症低血糖発作に伴うインスリン依存性糖尿病(H22.11.1) | | | | | | |
| | ②術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法(H23.4.1) | | | | | | |
| | ③ペメトレキド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法 肺がん(扁平上皮肺がん及び小細胞肺がんを除き、病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)(H24.12.1) | | | | | | |
| | ④術前のホルモン療法及びフルドロン投与の併用療法 閉経後のホルモン感受性乳がん(長径が5センチメートル以下であって、リンパ節転移及び遠隔転移を伴わず、かつ、エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る。)(H24.11.1) | | | | | | |
| | ⑤食道がんの根治的治療がなされた後の難治性の良性食道狭窄に対する生分解性ステント留置術 食道がんの根治的治療がなされた後の難治性の良性食道狭窄(内視鏡による検査の所見で悪性ではないと判断され、かつ、病理学的見地から悪性ではないことが確認されたものであって、従来の治療法ではその治療に係る効果が認められないものに限る。)(H25.9.1) | | | | | | |
| ⑥ラジオ波焼灼システムを用いた腹腔鏡補助下肝切除術 原発性若しくは転移性肝がん又は肝良性腫瘍(H26.3.1) | | | | | | | |
| 患者数 | 区分 | 入院患者数 | | 外来患者数 | | 病理解剖 | |
| | | 年間(延数) | 一日平均 | 年間(延数) | 一日平均 | 件数 | 剖検率 |
| | 平成23年度 | 368,403人 | 1,006人 | 672,256人 | 2,755人 | 37件 | 9.7% |
| | 平成24年度 | 356,990人 | 978人 | 681,766人 | 2,794人 | 39件 | 10.6% |
| 平成25年度 | 352,463人 | 966人 | 689,209人 | 2,836人 | 19件 | 0% | |
| 特定機能病院承認年月日 | | | | 平成7年2月1日 | | | |
| 病院機能評価認定年月日 | | | | 平成19年12月16日 | | | |
| エイズ治療の中核拠点病院指定年月日 | | | | 平成20年7月1日 | | | |
| 肝疾患診療連携拠点病院指定年月日 | | | | 平成20年8月8日 | | | |
| 都道府県がん診療連携拠点病院指定年月日 | | | | 平成25年4月1日(指定期間 平成25年4月1日～平成29年3月31日) | | | |